

支部活動の強化



発行所 宏版
四日市工業高等学校 充出
鶴ノ森同窓会 西村海
編集責任者 所
副 副
編集責任者 所
印刷



校長 落合 英次

鶴ノ森同窓会会員の皆様におかれましては日頃より母校の教育活動に対して深い理解と協力を賜り誠にありがとうございます。

また昨年度年間、鶴ノ森同窓会の本部定期総会を始め各支部の定期総会に出席させていただく中で皆様の元気溢れる活発な姿とりわけ懇親会の

活気横溢

最後締めとしての会場を揺るがすような校歌や応援歌の大合唱の様子を拝見するにつけ、鶴ノ森同窓会の団結の強さと四日市工業高校の卒業生の活気や活躍に頼もしさを感じると共に、四日市工業高校が大切にすべき伝統を強く感じた次第です。

加えて、鶴ノ森同窓会の会員である山本勝様が、三重県議会の議長に就任されましたこと誠に喜ばしいことであり、四日市工業高校の卒業生の皆様が各界で活躍されていること象



会長 西村 充宏

徴として、心よりお祝いを申し上げます。

さて、近年の社会経済情勢は「グローバル化」は当然のことであるという認識に変わりつつあります。

このグローバル地球規模、世界規模の「という言葉当初は、地球の温暖化が世界規模で進行していることを踏まえて、環境問題を地球規模でとらえていく必要性を訴える言葉として使われていました。その後、一九九〇年代頃からは、貿易の自由化や金融の自由化の必要性が強調され始め、世界規模で経済的な結びつきを深める経済のグローバル化」と言葉の意味が変化してきました。

そしてその「経済のグローバル化」の結果国内の製造業は競うかのように海外移転を推

伝統・改革 新任ご挨拶



会長 西村 充宏

れた事がありました。貫して前会長より、伝統ある鶴ノ森同窓会の精神を心に深く染み込ませたいと心に強く誓っています。

さて、新会長就任にあたり私が常日頃思っている事項に関して、取り組んでいきたい事柄を述べさせていただきます。思いを述べさせていただきます。

先ず第一は、母校との連携強化、であります。昨今ややもすると、以前の母校と同窓会の関係に比較し、現状は関係が希薄になっていると感じ



会長 西村 充宏

るを得ません。

次に、支部の活動の強化であります。

これも八十五周年記念事業の環として三企業支部の同窓会への新規加入という素晴らしい実績もありました。

他方、二部老舗支部の活動が、時休眠状態になっている事実があります。

第三には、鶴ノ森同窓会設立九十周年記念事業の完遂、であります。

第四には、鶴ノ森新聞の内容充実であります。

私は、これらの課題に副会長以下、全役員はもとより、会員の皆様の協力をいただき、全力で取り組んで行こうと考えており、是非協力をいただきます。



会長 西村 充宏

るを得ません。

次に、支部の活動の強化であります。

これも八十五周年記念事業の環として三企業支部の同窓会への新規加入という素晴らしい実績もありました。

他方、二部老舗支部の活動が、時休眠状態になっている事実があります。

第三には、鶴ノ森同窓会設立九十周年記念事業の完遂、であります。

第四には、鶴ノ森新聞の内容充実であります。

私は、これらの課題に副会長以下、全役員はもとより、会員の皆様の協力をいただき、全力で取り組んで行こうと考えており、是非協力をいただきます。

進め、そのことが働く場所には必要となります。

その意味でも、冒頭に述べた鶴ノ森同窓会の皆様の元気溢れる活発な姿、活気が横溢(おもうい)している姿、そして各界で積極的にリーダーとなって活躍している姿、これらの姿こそがまさしく四日市工業高校の生徒がめざす姿であり、四日市工業高校が大切にしている伝統であると考えます。

これらの姿を実現させるために本校の教職員は、ものづくり活動や部活動などを中心とした教育諸活動に丸ごと取り組み、皆様方におかれましては、今後とも引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

原稿募集
写真・絵画・文芸作品・随筆・手紙等
何でも歓迎！
どしどし本部まで
お送り下さい。

進め、そのことが働く場所には必要となります。

その意味でも、冒頭に述べた鶴ノ森同窓会の皆様の元気溢れる活発な姿、活気が横溢(おもうい)している姿、そして各界で積極的にリーダーとなって活躍している姿、これらの姿こそがまさしく四日市工業高校の生徒がめざす姿であり、四日市工業高校が大切にしている伝統であると考えます。

これらの姿を実現させるために本校の教職員は、ものづくり活動や部活動などを中心とした教育諸活動に丸ごと取り組み、皆様方におかれましては、今後とも引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

原稿募集
写真・絵画・文芸作品・随筆・手紙等
何でも歓迎！
どしどし本部まで
お送り下さい。



名誉会長 川崎 國男

原稿募集
写真・絵画・文芸作品・随筆・手紙等
何でも歓迎！
どしどし本部まで
お送り下さい。

原稿募集
写真・絵画・文芸作品・随筆・手紙等
何でも歓迎！
どしどし本部まで
お送り下さい。



原稿募集
写真・絵画・文芸作品・随筆・手紙等
何でも歓迎！
どしどし本部まで
お送り下さい。

原稿募集
写真・絵画・文芸作品・随筆・手紙等
何でも歓迎！
どしどし本部まで
お送り下さい。

◆ 総会のご案内 ◆

日時 平成二十六年五月十一日 (第二日曜日)
受付 午前九時三十分
開会 午前十時

場所 グラントホテル四日市

会費 四千元

鶴ノ森同窓会のホームページがアドレスが変更となりました。
http://www.yokkaichi-th.ed.jp/unomor/ 「鶴ノ森同窓会」で検索して頂ければ結構です!
是非一度閲覧ください。

検索

平成二十五年事業計画

一、奨学生の選出と助成(全定 若干名)	五月下旬
二、工業技術ものづくり支援制度作品選出	七月下旬
三、機関新聞「鶴ノ森」の発行(九〇〇部)	七月中旬
四、四工祭(文化祭協賛)OB作品展	十月下旬
五、新会員の入会式	九月、二月下旬
六、優良卒業生の表彰	二月下旬
七、矢野奨励賞の表彰	二月下旬
八、クラス支援制度展開	連年
九、記念館の整備充実	随時
十、支部形成の促進	随時
十一、会議(常任理事会、理事会、事業推進等)	年間約二十回
十二、鶴ノ森同窓会ホームページ更新	七月、十一月

平成二十五年本部役員

名誉会長	川崎 國男	会計	山口 敏幸
会長	西村 充宏	常任理事	小林 義美
副会長	富山 実	〃	久保 貢
〃	山元 俊二	〃	田中 正美
〃	宇佐義茂基	〃	牧野 茂
監査	日比 正徳	〃	森 茂樹
〃	森 正男	〃	渡辺 克也
書記	千種 雄介	〃	
〃	南部 覚	〃	

校内記念碑等の紹介

①校門



②顕彰碑



四工を業して卒業

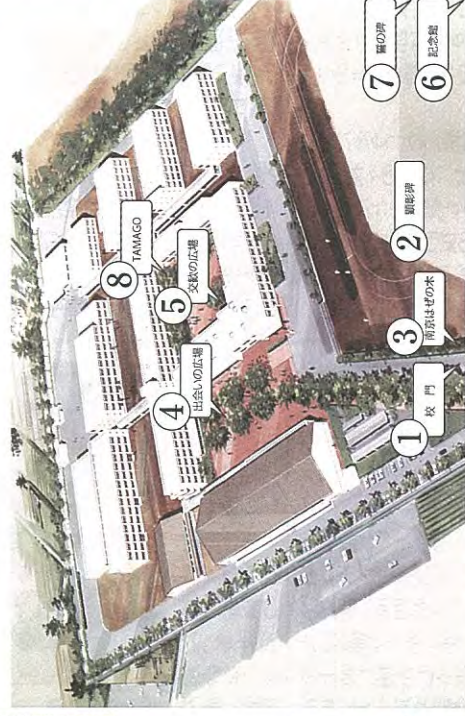


電子機械科卒業
伊藤 達也

③南京はぜの木



私は今年の四月に豊橋技術科学大学の工学部機械工学課程に進学しました。
現在は、実家を離れアパートでの一人暮らしと勉強の両立に苦労しています。大学では工学の基礎となる一般教養科目と理工学実験を行い、社会で活躍できるエンジニアを志し頑張っています。大学は高校とは違い幅広い年代の人と交流する機会が多々ありますが、四日市工業高校で築み上げた作法のおかげで良い関係を持っています。
また工業高校から進学となると厳しい部分があることも事実です。しかし、恩師にいただいた努力次第で何とかなるという言葉信じて、今後も立派な社会人になれるように努力していきます。



- ① 校門
- ② 顕彰碑
- ③ 南京はぜの木
- ④ 出会いの広場
- ⑤ 交歓の広場
- ⑥ 記念館
- ⑦ 誓の碑
- ⑧ TAMAGO

⑧TAMAGO



⑦誓の碑



④出会いの広場



⑤交歓の広場



⑥記念館



インマン会



平成24年10月10日
みやび

クラス会支援制度

- ①対象
クラス会学年同窓会
- ②内容
申請書に会員名簿と集合写真を添えて同窓会事務局まで郵送する。
- ③支援金
出席人数×三百円
但し千円未満は四捨五入して支給。

※集合写真を次の機関誌に掲載予定。
(抜粋)

昭和24・25年機械科 つくしの会同級会



平成24年10月12日
四日市シティホテル

昭和26年機械科



平成24年8月5日
湯の山 希望荘

昭和35年機械科同期会



平成24年10月18日
日間賀島 すずらん

昭和37年工業化学科 古稀同窓会



平成24年10月17日
湯の山 希望荘

昭和37年窯業科



平成25年5月12日
湯の山 希望荘

昭和39年建築科



平成24年1月16日
湯の山 希望荘

昭和41年度定時制機械科



平成25年5月16日
湯の山 希望荘

KHネオケム

平成60年4月1日発足
会員数 132名

鵜ノ森同窓会の皆様におかれましては、各職場や地域におかれ日々活躍のご活躍の事お慶び申し上げます。また鵜ノ森同窓会におきましても、昨年八十五周年という新たな歴史を刻み、更に次の目標に向け新たな歩を踏み出された事は我々同窓生にとりましては誇りに感じ次第です。さて、私共「KHネオケム支部」と致しましては、



影響を大きく受ける商品価格の転嫁することも出まらず、厳しい環境が続いております。

昨年再び支部名を改め三度目の船出となりました。今年も新たに五名の仲間を迎えこれまで諸先輩方が築いて来た活動を継承すべく日々の活動に取り組んでいこうと。ところで東日本震災以降、国内の景気回復の歩みは遅く、更には為替の急激な変動が加わり、主要な原料を輸入に頼るケミカル業界においてはそうした

国内市場においては、アベノクスや金融緩和と政策などにより、徐々に景気回復の兆しが見え始めたものの発表もある一方で、我々の周辺においては、まだまださうした実感はありません。そのよき環境の中、我々KHネオケム支部におきましても、支部会員一人一人が、責任感を持って自分に与えられた業務に取り組む、製品の差別化や高付加価値化に繋げられるよう、母校の教えである「技術と精神」を常に精神に秘めながら日々精進して参りたいと思っております。

鵜ノ森同窓会の皆様におかれましては、引き続きご支援ご指導の程宜しく願ひ申し上げます。

扶桑工機

昭和46年4月1日発足
会員数 30名

扶桑工機支部の近況報告をさせていただきます。まず写真は母校より昨年度社した小椋君の歓迎会をかねて親睦会を湯ノ山温泉で行いました。全員の参加は残念ながら出来ませんでした。扶桑現役と扶桑OBとの団結がより深まり時間を忘れる程の盛り上がりを見せました。毎回OBさんに参加して頂いてますが、すくぱワフルなメンバーであり圧倒されます。写真に女性が写ってますが場を盛り上げるコバさんですので間違えなようにお願いします。



同窓会ならびに、各支部の皆様の益々の活躍をお祈り申し上げます。扶桑工機支部の報告とさせていただきます。

扶桑工機会員の近況報告として昭和五十五年機械科卒業の諸戸さんは昨年より中国天津扶桑の総経理として単身赴任し中国現地の人を使いかなりの苦勞をしながら頑張っています。また他のメンバーもUSA、韓国など長期出張し活躍をしています。リーマンショック以降は国内産業が空洞化し仕事量の確保が困難でしたが、本年度はかなり多忙であり、より一層カンパイトと意気込みます。最後になりますが、鵜ノ森同窓会ならびに、各支部の皆様の益々の活躍をお祈り申し上げます。扶桑工機支部の報告とさせていただきます。

関西支部

平成8年4月発足
会員数 201名

今年も六月二十三日に十回目の定期総会懇親会を開催する事が出来ました。本部より来阪頂きました西村会長、日比前会長より本部母校の近況をご報告頂きました。今回は近畿在住の二百余名にご案内し三名の方が初参加された事と会場が大阪駅北再開発エリアに接しており心配致しましたが予定通り無事に開始となりました。懇親会では、本部での「四工高創立九十周年記念」を上映し懐かしく当時を想い大いに盛り上がりました。近畿四府四県と広域の為、連絡は取れるものの会場に行くことが難しい方が増えております。又支部の会員も減少が続きます。新会員の発掘が課題となっております。関西の「転勤」「進学」等の

パナソニック

平成24年7月14日発足
会員数 160名

鵜ノ森同窓会会員の皆様方におかれましては、益々健勝の事と御慶び申し上げます。皆様も御存知のとおり日本の電機メーカーなどが海外メーカーに押され販売低迷が続いていますが、そんな中、当四日市事業所では電子部品の材料メーカーとして回復の兆しが出て来ました。しかしパナソニックが、復活



影響を大きく受ける商品価格の転嫁することも出まらず、厳しい環境が続いております。

するには四日市事業所も更なる商品コスト削減や高付加価値商品の製造が要求され、各部門に在籍する鵜ノ森同窓会メンバーの期待も大きくなっています。又、当社もグローバル化が進み海外にも工場が出来て同窓会メンバー内でも技術指導などで海外出張される方が多くなっています。卒業してから各自が日々是精進で技術力を身に付け海外指導するまでになる事は厳しい市況下でも負けない自信に繋がり活気溢れるパナソニック復活の為の翼を担う様になって行くと思います。又、私達のパナソニック四日市支部も活気溢れ笑顔が絶えない同窓会支部にして行きます。昨年七月十四日に支部発足して今年には百六十名になり毎年数名は入社し、全体の二割程度まで大きくなりました。

富士電機

昭和45年4月1日発足
会員数 108名

鵜ノ森同窓会の皆様におかれましては、益々御健勝にご活躍のごことお慶び申し上げます。私共富士電機支部の近況をご報告させていただきます。昨年度はこれまでの工場丸ごとでの事業構造改革や原価低減生産合理化活動の取組みが奏功し富士電機全体の業績が苦戦する中、三重工場の中核事業であります自動販売機事業およびオートテニ事業ともに損益を大幅改善する事ができました。現在は自動販売機で培った「冷熱」「断熱技術」をベースに



この状況の中、四工OBも母校の伝統「技術と精神」をいかに発揮し、あらゆる部署で日々頑張っています。鵜ノ森同窓会におきましても、本年は残念ながら母校からの新入社員を迎える事はできませんでしたが、事業の好況の波に活気あふれる支部にしていきな

コスモ石油

昭和36年1月1日発足
会員数 145名

鵜ノ森同窓会の皆様におかれましては、益々健勝の事とお慶び申し上げます。コスモ石油支部の近況を報告させていただきます。大きなダメージを受けた東日本震災の爪痕も社員体となって力を集結し取り組み結果、徐々に回復に至り、千葉製油所の本格稼働までもう少しです。最後に母校と鵜ノ森同窓会の皆様方の御健勝を心よりお祈り申し上げます。

今年度は、益々健勝にご活躍のごことお慶び申し上げます。東芝四日市支部は、母校創立九十周年、鵜ノ森同窓会設立六十五周年、工場設立二十周年の記念すべき昨年の十月に発足しました。発足総会



この場と年間の活動報告を行うと共に、会員相互の親交を深めております。

また、七月には坂出製油所のオイルターミナル化が予定されています。三製油所体制になる中で、四日市製油所の役割も大きく変化しそうです。これまで以上に基幹製油所として安全操業・安定供給の責任が増すと考えています。この数年は、同世代の定年退職があり、毎月「熟練技術者が会社を去る状況」となっております。いち早く、世代交代を図るべく「技術の伝承」を大切にしています。今年度は、益々健勝にご活躍のごことお慶び申し上げます。最後に母校と鵜ノ森同窓会

力に如何なく発揮しているところと。今後とも諸先輩方から受け継がれた同窓生の輪を継ぎ、頑張っています。最後に母校と鵜ノ森同窓会皆様の健勝と活躍を祈念し、支部報告とさせていただきます。

NTNは九八年の創業以来、自動車向け及び、産業機械向けアプリケーションなど幅広い分野で新商品を提供しています。このうち、NTN発祥の地である香名製作所では、建設機械、工作機械、航空機、新幹線をはじめとする鉄道車輛、風力発電機「Cエスエス」などの医療機やロボット用など様々な産業機械向けアプリケーションを生産しています。しかしながら業績低迷により本年四月から、世界で存在感の高企業成長すべく「復活〇四」を掲げ、利益を造る企業体質への変革に取り組んでいます。本年度も昨年度に引き続き母校より五名の新同窓生を迎え入れる事ができました。立派なNTNマンとして活躍され



東芝四日市支部は、母校創立九十周年、鵜ノ森同窓会設立六十五周年、工場設立二十周年の記念すべき昨年の十月に発足しました。発足総会

NTN

昭和26年発足
会員数 58名

鵜ノ森同窓会の皆様方には、益々健勝にご活躍のごことお慶び申し上げます。NTN支部は「重責」の名称にて同窓会活動を行っており、三月一日には川崎名誉会長、日比会長をお招きし、支部定期総会を開催しました。この場と年間の活動報告を行うと共に、会員相互の親交を深めております。

最後に、母校と鵜ノ森同窓会並びに各支部皆様方の益々の発展と健勝を心からお祈り申し上げます。支部報告とさせていただきます。

東芝四日市支部発足総会
鵜ノ森同窓会の皆様におかれましては、益々健勝にご活躍のごことお慶び申し上げます。東芝四日市支部は、母校創立九十周年、鵜ノ森同窓会設立六十五周年、工場設立二十周年の記念すべき昨年の十月に発足しました。発足総会

は十月に同窓生の佐野様が社長を務められている四日市のフロンホールで川崎名誉会長、日比会長、落合校長、会社代表、労組代表、会員合わせて約六十名が出席し、母校の歩みを振り返りながら今後の益々の発展を誓いました。総会では、支部代表として辻支部長が挨拶した後、川崎名誉会長、日比会長、落合校長が挨拶され、続いて稲葉副支部長の乾杯の音頭で式典が開会。会場では懐かし話題に話弾み、母校を振り返る写真や新聞記事がスクリーンに映し出されると会場は大いに盛り上がりました。その後、会社代表の青山部長、労組代表の後原副執行委員長少し間をおいて部門代表者九名が挨拶されました。そして最後に母校校歌を出席者全員で大きな声で合唱して、今後の母校と支部の発展並びに工場の発展を祈念し、記念撮影を行って終了しました。当工場は従業員数五千二百名でNAND型フラッシュメモ



東芝四日市支部発足総会

りを生産しております。鵜ノ森同窓会会員は今年の新入社員一名を含めて百六十四名を有しており、日本での生き残りを掛けて、各職場において重責を果たすべく日夜仕事に励んでおります。最後になりましたが、母校並びに鵜ノ森同窓会と各支部の皆様方の益々の発展と健勝を心より願ひ、支部報告とさせていただきます。

るよう、同窓生同バツケツとしていく所存です。これからも四日市工業大学「技術と精神」を忘れずNTNの発展と元氣な日本を目指し、皆貴会同進して参ります。最後に、母校と鵜ノ森同窓会並びに各支部皆様方の益々の発展と健勝を心からお祈り申し上げます。支部報告とさせていただきます。



ロータリークラブ（神戸ボックス）



風力発電士と風車

三菱電機ビルテクノサービス

平成4年4月発足
会員数 23名



今年度は久々に四日市工業高校の卒業生を新入社員として迎えたいと思っております。私共、三菱電機ビルテクノサービス支部の近況を報告させていただきます。

若者が将来の東ソトを支えてくれることを確信しております。さて、弊社の近況報告を紹介させていただきます。電コビエー

東ソト

平成4年4月発足
会員数 197名



鶴ノ森同窓会の皆様方におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。私共、東ソト支部には、今年度も七名のフレッシュな仲間が加わりました。

最後に皆様方の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。支部の報告とさせていただきます。

大々的に記念式典を行なうことが出来ませんでした。御座りました。御座りました。御座りました。

明設備を必要最低限まで、ライトダウンを敢行し、エコ運動に取り組んでいます。一方、当支部は、母

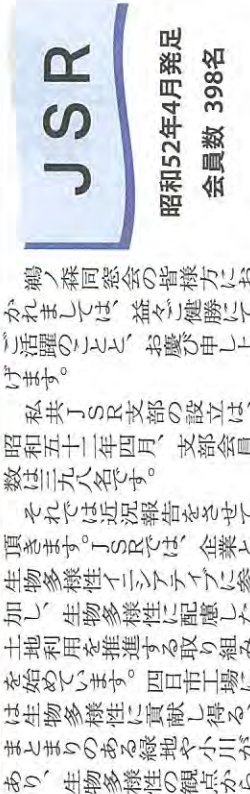
太陽化学

昭和53年5月発足
会員数 37名

鶴ノ森同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。太陽化学支部の近況について報告させていただきます。



最後に、皆様方の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。支部の報告とさせていただきます。



三菱化学

平成6年1月発足
会員数 300名

当社は「Good Chemistry for Tomorrow」人、社会、そして地球環境のより良い関係を創るために。」を理念とし、「環境資源」「健康」「快適」の3つを、企業活

工場とする、地域の生物多様性に大きく貢献できる可能性があります。そこで、昨年九月に今後の取り組みを検討していくための基礎情報を集めるため、大学研究員、専門家とともに、工場敷地、近隣の公園を対象に、どのような生き物が利用しているかを調査を行いました。



最後に、皆様方の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。支部の報告とさせていただきます。



建設部会

昭和52年発足
会員数 60名

この同窓会の建設部会会長前高崎会長より引き続きでから早いものでもう八年目を迎えることとなりました。

最後に、皆様方の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。支部の報告とさせていただきます。

建設部会

平成15年発足
会員数 55名

建設部会も早いもので、既に十年を経過致しました。我々の部会は、定年退職者、或は、個人で事業主の会員で構成されています。

最後に、皆様方の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。支部の報告とさせていただきます。

建設部会

昭和61年発足
会員数 156名

この同窓会の建設部会会長前高崎会長より引き続きでから早いものでもう八年目を迎えることとなりました。

最後に、皆様方の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。支部の報告とさせていただきます。

建設部会

昭和53年4月発足
会員数 398名

最後に、皆様方の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。支部の報告とさせていただきます。

最後に、皆様方の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。支部の報告とさせていただきます。



機械部会

昭和53年5月発足
会員数 37名

機械部会も早いもので、既に十年を経過致しました。我々の部会は、定年退職者、或は、個人で事業主の会員で構成されています。

最後に、皆様方の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。支部の報告とさせていただきます。



建設部会の現会員様、入会

最後に、皆様方の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。支部の報告とさせていただきます。



定時制近況報告

定時制 教頭 土方 清裕

は、益々健勝のことお慶び申し上げます。また、平者は本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、定時制では平成二十三年度に学科改編を行い、工学科二学級から機械交通工学科(機械、自動車コース)、住工学(土木工学科、電気、建築コース)の学科四コースになり三年目に入りました。完成年度に向けて、実習や資格取得の指導など、より実践的でより魅力的な教育内容になるよう努力を重ねています。

現在、在籍生徒数は百八十二名です。多くは十代の生徒ですが、二十代から六十代までの社会経験豊かな生徒も、四十七名(約二十五%)在籍しています。このことから、学び直しの場としての定時制の役割が社

会の中で強く求められていると考えています。また、外国国籍生徒も多く(割強)在籍しています。このように、本校定時制は「多様性」が特徴の一つであり、多様な生徒のニーズに対応しながら、学力保障、進路保障を行うことが求められています。

昨年度の就職状況ですが、おかげさまで、学校轉進での就職希望者は二年連続で全員正規雇用での就職先を確定することができました。これは、近年の就職難の中、大変な成果だと思います。

部活動におきましては、今年度、サッカー部、陸上部、武道部(剣道)が、全国定時制通信制高等学校大会の出場を決めました。これも、



母

校

だ

よ

り

全日制近況報告

全日制 教頭 大久保克彦



は、益々健勝のことお慶び申し上げます。また、平者は本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

最近の学校の状況を報告させていただきます。二つは進路の状況です。平成四年度の求人数は昨年度より五人増の七二人でした。そして先輩諸氏の各方面での活躍、これまで積み重ねられてまいりました工業高校の信頼等もあり、昨年度の学校を通じた就職状況は三年連続で〇〇%の内定状況でした。一生涯命張っている生徒たちの思い、そして保護者の皆様

の願いを受け止めながら、学校として今後も継続する努力を続けてまいりたいと考えております。

二つ目は、工業の専門分野の活躍であります。平成四四年月に行われた第四回全日本ロボット相撲東海大会では第三四位を獲得、第七回三重県高校生テクノドリフト大会では、相撲ロボット部門がサイズ賞、ノリノリコンカ部門がアイデア賞と技術賞を獲得、そして平成五年五月三日に行われたものづくりコンテスト三重県大会(木材加工部門)では頼もしい生徒たちが優勝等を勝ち取り、東海大会の出場を獲得してくれました。このことは生徒たちのこれまでの努力と熱心な取り組みがものづくりの成果に現れたと確信したところで、日々の授業や実習等で、基礎的・基本的な知識・技術・技能の習得に自ら励み、将来の工業人として希望を持ち、今を努力する生徒たちに教職員は良き理解者として寄り添いながら

紹介卓球部



平成24年度 部活動成績 <全日制>

クラブ名	種目	成績
陸上競技	4x100mR	5位
バスケットボール	男子	出場
ハンドボール	男子	出場
テニス	男子	3位
ソフットボール	男子	出場
ウエイトリフティング	男子	6位

個人部	種目	成績
テニス	男子シングルス	D3
ウエイトリフティング	77kg級	A3
陸上競技	100m	E3
	成年少年男子共通	E1
	4x100mR	E3
	100m	E3
	200m	E1
ハンドボール	男子	出場
テニス	男子ダブルス	D3
	男子シングルス	D3
	テニス競技少年男子	D3
	77kg級T	A3
	77kg級C&J	A3
	56kg級T	S1
	56kg級C&J	J2
	53kg級	S2
	62kg級	S1
	56kg級S	S1
	56kg級C&J	S1
	56kg級T	S1
	77kg級C&J	A3
	77kg級T	A3

現在、卓球部は顧問三名、部員二十七名で活動しています。練習は体育館で平日三時間、土日は八時間で毎日頑張っています。

今年度の全国総体卓球選では団体ダブルス個人いずれも準優勝でしたがダブルス個人は二年連続で全国総体の出場権を獲得しました。

卓球は「心と心の戦い」で試合では高い集中力と相手を上回る強い精神力が必要な競技

個人で全国総体に出場し、卓球大会(団体、二年個人)で優勝しました。その勢いで東海大会も勝ち抜き、全国選抜卓球大会(団体の部)に出場することができました。

今年度の全国総体卓球選では団体ダブルス個人いずれも準優勝でしたがダブルス個人は二年連続で全国総体の出場権を獲得しました。

卓球は「心と心の戦い」で試合では高い集中力と相手を上回る強い精神力が必要な競技

です。日々の練習で技術と身体を鍛えただけでなく「絶対に勝つ」という強い気持ちをもち続ける選手を人でも多く輩出できるような頑張りを期待していますので、今後とも皆様の応援宜しくお願い致します。

最後になりましたが、鶴ノ森同窓会新聞「鶴ノ森」に寄稿させていただいたことを心より感謝いたします。

全日制 紹介 物質工学科

鶴ノ森同窓会の皆様には、益々健勝のことお慶び申し上げます。また、平者は本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、定時制では平成二十三年度に学科改編を行い、工学科二学級から機械交通工学科(機械、自動車コース)、住工学(土木工学科、電気、建築コース)の学科四コースになり三年目に入りました。完成年度に向けて、実習や資格取得の指導など、より実践的でより魅力的な教育内容になるよう努力を重ねています。

現在、在籍生徒数は百八十二名です。多くは十代の生徒ですが、二十代から六十代までの社会経験豊かな生徒も、四十七名(約二十五%)在籍しています。このことから、学び直しの場としての定時制の役割が社

会の中で強く求められていると考えています。また、外国国籍生徒も多く(割強)在籍しています。このように、本校定時制は「多様性」が特徴の一つであり、多様な生徒のニーズに対応しながら、学力保障、進路保障を行うことが求められています。

昨年度の就職状況ですが、おかげさまで、学校轉進での就職希望者は二年連続で全員正規雇用での就職先を確定することができました。これは、近年の就職難の中、大変な成果だと思います。

部活動におきましては、今年度、サッカー部、陸上部、武道部(剣道)が、全国定時制通信制高等学校大会の出場を決めました。これも、

授業終了後や休日での練習の成果が実ったものと思います。

北勢地域唯一の定時制工業高校として、本校の県内の教育における本校の役割は大変大きいものと思います。今後、より一層の教育内容の充実のために、職員一同努力を重ねていく所存です。そしてその実現のためには、同窓会の皆様のお力添えをお願いすることもあろうかと存じます。

今後とも、定時制教育のために、変わらぬ支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

全日制 紹介 物質工学科

鶴ノ森同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育にご理解ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回、物質工学科の科紹介をさせていただきますことになりました。平成十七年に工業化学科とセラミック科が統合され、物質工学科となり、今年で九回目の入学を迎えることが

できました。今年度の入学生からは、二年生から分かれた八期生までとは異なり、コース制を廃止し、全員が工業化学とセラミックについて三年間を学ぶことになりました。今年度の実習内容は、分析実習(定性定量)、機器、化学工学実習、計測実習、有機合成実習、コンピュータ実習、ろくろ実習、陶磁器釉薬実習などです。

資格取得においては、二種危険物取扱者、計算技術検定、情報技術検定に全員で取り組み、資格取得に向けて努力する過程を大切に指導しています。また、高圧ガス製造保安責任者、二級ボイラー技士、セラミック能力検定、全国統陶芸技能

検定(ろくろ技能の部)等の資格に取り組む生徒もいて、結果を残しています。

ものづくりコンテスト(化学分野部門)においては、昨年度は団体の部で優勝し、個人の部でも二位から四位まで入賞しました。また、産業教育フェア等のものづくり教室等に参加し、小中学生に物質工学科について知ってもらえるようにしています。

進路においては、昨年度の卒業生は、二名が進学、三十七名が就職しました。就職希望者全員が就職することができましたことは、同窓会の皆様の多大なご理解とお力添えを頂いたおかげであり、厚く御礼申し上げます。今後とも、厚く御礼申し上げます。

求 人 状 況

年度	求人会社数	求 人 数
平成24年度	307	318
内 外	191	260
内 計	498	464
外 計	248	248
合 計	746	712

進 路 状 況

年度	進 路 状 況
平成24年度	合計 318 (18)
進 学	2名 (1)
就 職	316 (17)
進 学	2名 (1)
就 職	314 (16)
進 学	11名 (6)
就 職	203 (10)
進 学	4名 (2)
就 職	36名 (18)
進 学	1名 (0)
就 職	35名 (17)
進 学	2名 (1)
就 職	33名 (16)
進 学	1名 (0)
就 職	32名 (16)
進 学	1名 (0)
就 職	31名 (15)
進 学	1名 (0)
就 職	30名 (15)
進 学	1名 (0)
就 職	29名 (14)
進 学	1名 (0)
就 職	28名 (14)
進 学	1名 (0)
就 職	27名 (13)
進 学	1名 (0)
就 職	26名 (13)
進 学	1名 (0)
就 職	25名 (12)
進 学	1名 (0)
就 職	24名 (12)
進 学	1名 (0)
就 職	23名 (11)
進 学	1名 (0)
就 職	22名 (11)
進 学	1名 (0)
就 職	21名 (10)
進 学	1名 (0)
就 職	20名 (10)
進 学	1名 (0)
就 職	19名 (9)
進 学	1名 (0)
就 職	18名 (9)
進 学	1名 (0)
就 職	17名 (8)
進 学	1名 (0)
就 職	16名 (8)
進 学	1名 (0)
就 職	15名 (7)
進 学	1名 (0)
就 職	14名 (7)
進 学	1名 (0)
就 職	13名 (6)
進 学	1名 (0)
就 職	12名 (6)
進 学	1名 (0)
就 職	11名 (5)
進 学	1名 (0)
就 職	10名 (5)
進 学	1名 (0)
就 職	9名 (4)
進 学	1名 (0)
就 職	8名 (4)
進 学	1名 (0)
就 職	7名 (3)
進 学	1名 (0)
就 職	6名 (3)
進 学	1名 (0)
就 職	5名 (2)
進 学	1名 (0)
就 職	4名 (2)
進 学	1名 (0)
就 職	3名 (1)
進 学	1名 (0)
就 職	2名 (1)
進 学	1名 (0)
就 職	1名 (0)
進 学	1名 (0)
就 職	0名 (0)

求 人 状 況

年度	求人会社数	求 人 数
平成24年度	307	318
内 外	191	260
内 計	498	464
外 計	248	248
合 計	746	712

進 路 状 況

年度	進 路 状 況
平成24年度	合計 318 (18)
進 学	2名 (1)
就 職	316 (17)
進 学	2名 (1)
就 職	314 (16)
進 学	11名 (6)
就 職	203 (10)
進 学	4名 (2)
就 職	36名 (18)
進 学	1名 (0)
就 職	35名 (17)
進 学	2名 (1)
就 職	33名 (16)
進 学	1名 (0)
就 職	32名 (16)
進 学	1名 (0)
就 職	31名 (15)
進 学	1名 (0)
就 職	30名 (15)
進 学	1名 (0)
就 職	29名 (14)
進 学	1名 (0)
就 職	28名 (14)
進 学	1名 (0)
就 職	27名 (13)
進 学	1名 (0)
就 職	26名 (13)
進 学	1名 (0)
就 職	25名 (12)
進 学	1名 (0)
就 職	24名 (12)
進 学	1名 (0)
就 職	23名 (11)
進 学	1名 (0)
就 職	22名 (11)
進 学	1名 (0)
就 職	21名 (10)
進 学	1名 (0)
就 職	20名 (10)
進 学	1名 (0)
就 職	19名 (9)
進 学	1名 (0)
就 職	18名 (9)
進 学	1名 (0)
就 職	17名 (8)
進 学	1名 (0)
就 職	16名 (8)
進 学	1名 (0)
就 職	15名 (7)
進 学	1名 (0)
就 職	14名 (7)
進 学	1名 (0)
就 職	13名 (6)
進 学	1名 (0)
就 職	12名 (6)
進 学	1名 (0)
就 職	11名 (5)
進 学	1名 (0)
就 職	10名 (5)
進 学	1名 (0)
就 職	9名 (4)
進 学	1名 (0)
就 職	8名 (4)
進 学	1名 (0)
就 職	7名 (3)
進 学	1名 (0)
就 職	6名 (3)
進 学	1名 (0)
就 職	5名 (2)
進 学	1名 (0)
就 職	4名 (2)
進 学	1名 (0)
就 職	3名 (1)
進 学	1名 (0)
就 職	2名 (1)
進 学	1名 (0)
就 職	1名 (0)
進 学	1名 (0)
就 職	0名 (0)

平成24年度卒業生の進路状況

鶴ノ森同窓会の皆様におかれましては、益々健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年度の就職状況に關しまして、ご報告申し上げます。平成四年度も、幸いにも就職希望者全員が入社することが出来ました。これも、日頃の鶴ノ森同窓会の皆様のご活躍のおかげです。

進学につきましては、本校に頂いた指定校推薦枠に希望者が出ない状況にあります。平成二四年度は、四年生大学に三十九名の生徒が進学しました。短大・専門学校等を含めると、生徒全体の約十七%にあたる五十四名が進学することになりました。

最後になりましたが、皆様の益々の活躍をお祈り申し上げます。

年度	求人会社数	求 人 数
平成24年度	307	318
内 外	191	260
内 計	498	464
外 計	248	248
合 計	746	712

職 員 の 異 動

(平成二十五年度教職員の異動状況の通りです)

退職 (舎合制)
宇野 雄二 園芸
北川 淳一 地歴
辻 道代 物質工
岩花 善衛 機械
小川 和廣 機械
川谷 澄夫 電子工
坂倉 明 電子工
吉岡 浩一 建築
祖父江 文明 事務員
北村 圭 事務員

転出 (舎合制)
稲垣 愛 園芸 朝高
松岡 嘉典 工学 四日市高
鬼頭 孝彦 工学 倉敷高
水谷由美子 園芸 北高
谷川 哲也 物質工 松島高
小林 尚仁 機械 四日市高
柳川 聡寛 機械 香取高
北岡 俊信 電子工 香取高
有馬 智昭 建築 津高
浅川 裕之 自動車 松島高
奥野 誠人 教員 學園高

定時制
森同窓会委員様の活躍のお陰と心から感謝しております。進学につきましては、本校に頂いた指定校推薦枠に希望者が出ない状況にあります。平成二四年度は、四年生大学に三十九名の生徒が進学しました。短大・専門学校等を含めると、生徒全体の約十七%にあたる五十四名が進学することになりました。

最後になりましたが、皆様の益々の活躍をお祈り申し上げます。

年度	求人会社数	求 人 数
平成24年度	307	318
内 外	191	260
内 計	498	464
外 計	248	248
合 計	746	712

転入 (舎合制)
伊藤 雅之 園芸 北高
木下 雄平 機械 倉敷高
庄司 賢人 建築 津高
島田 浩幸 園芸 香取高
中川 彩園 園芸 津高
丸山友加里 工学 新羅高
澤田 一春 工学 飯野高
井上 泰幸 社会 上野高
坂元 宏章 園芸 四日市高
水谷 幸代 園芸 四日市高
金森 ゆり 園芸 四日市高
鈴木 直人 物質工 四日市高
生川 孝彦 機械 香取高
上野 久美雄 機械 香取高
森 保士 機械 倉敷高
藤吉 光 機械 新羅高
鈴木 秀幸 機械 四日市高
稲垣 文彦 電子工 香取高
向井 紫帆 電子工 香取高
青木 隆二 建築 津高
坂本 昌代 建築 伊勢高
小宮 健 自動車 松島高

定時制
土方 清裕 教員 朝高
森元 界人 理科 新羅高
大西 啓介 電子工 津高
西川 信雄 事務員 四日市高
齋藤 智哉 事務 新羅高
園戸 明浩 園芸 定時制
平賀 隆 機械 交通 定時制
石黒 明 電子工 舎合制

.....

とともに、四日市工業高校への層のお力添えにご支援を賜りたくお願い申し上げます。

(注) () は女子の内数